

名称：急性心筋梗塞患者における退院時スタチン投与割合

指標番号：

QIP：2050

年度：2010, 2012, 2014, 2016, 2018

更新日：2018-09-21

指標群：循環器系疾患 薬剤

名称：急性心筋梗塞患者における退院時スタチン投与割合

意義：治療内容をみるプロセス指標

必要データセット：DPC様式1 Fファイル EFファイル

定義の要約：

分母：急性心筋梗塞で入院した症例数

分子：分母のうち、退院時にスタチンが投与された症例数

指標の定義算出方法：

分母の定義：

1：

解析期間に退院した症例を対象とする。

2：

このうち、急性心筋梗塞の診断を受けた症例。資源を最も投入した傷病名と主傷病名のICD-10コードが下記である症例

分母のデータ2

ICD-10コード	病名
I21\$	急性心筋梗塞

3：

このうち、退院日が入院後3日以降である症例。（入院日を1とする）。

4：

このうち、退院時転帰が死亡ではないもの。退院時転帰の値として以下のいずれかが入力されている症例を除外する

分母のデータ4

退院時転帰	説明
6	最も医療資源を投入した傷病による死亡
7	最も医療資源を投入した傷病以外による死亡

5：

このうち退院先が不明、転院の症例は除外する。2010年度～2013年度 退院先「0 不明、 4 転院」を除外する。2014年度以降 退院先「4 他の病院・診療所への転院」を除外する。

6：

調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

分子の定義：

1：

スタチンが処方されている症例。Fファイル、もしくはEFファイルにおいて、以下の薬価基準コードに相当するレセ電コードが含まれる症例。

分子のデータ1

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
2189015	アトルバスタチンカルシウム水和物	○	○	○	○	○
2190101	アムロジピンベシル酸塩・アトルバスタチンカルシウム水和物	○	○	○	○	○
2190102	アムロジピンベシル酸塩・アトルバスタチンカルシウム水和物	○	○	○	○	○
2190103	アムロジピンベシル酸塩・アトルバスタチンカルシウム水和物	○	○	○	○	○

薬価基準コード7桁	成分名	2010	2012	2014	2016	2018
2190104	アムロジピンベシル酸塩・アトルバスタチンカルシウム水和物	○	○	○	○	○
2189101	エゼチミブ・アトルバスタチンカルシウム水和物					○
2189011	シンバスタチン	○	○	○	○	○
2189016	ピタバスタチンカルシウム	○	○	○	○	○
2189010	プラバスタチンナトリウム	○	○	○	○	○
2189012	フルバスタチンナトリウム	○	○	○	○	○
2189017	ロスバスタチンカルシウム	○	○	○	○	○

2:

このうち、薬剤が退院時に処方されている症例。

退院時処方の判定:

2010年度～2015年度: FファイルもしくはEFファイルにおいて、出来高・包括フラグが「1」

2016年度～: EF-17・F-19 行為明細区分情報(12桁の数値)の1桁目「退院時処方区分」が「1」

薬剤一覧の出力: false

リスク調整因子の条件:

指標の算出方法(説明分子÷分母)

指標の算出方法(単位パーセント)

結果提示時の並び順: 昇順

測定上の限界・解釈上の注意:

1:

アレルギーなどの適用外の患者も含まれてしまう為、値が低く算出される可能性がある。

参考値:

1:

QIPの過去の指標では40%前後。ただし、この値は退院時に限っていないので低くでることが予想される。

参考資料:

1:

日本循環器学会ほか, 心筋梗塞二次予防に関するガイドライン(2011年改訂版), 2011

定義見直しのタイミング:

最終更新日: 2018-09-21